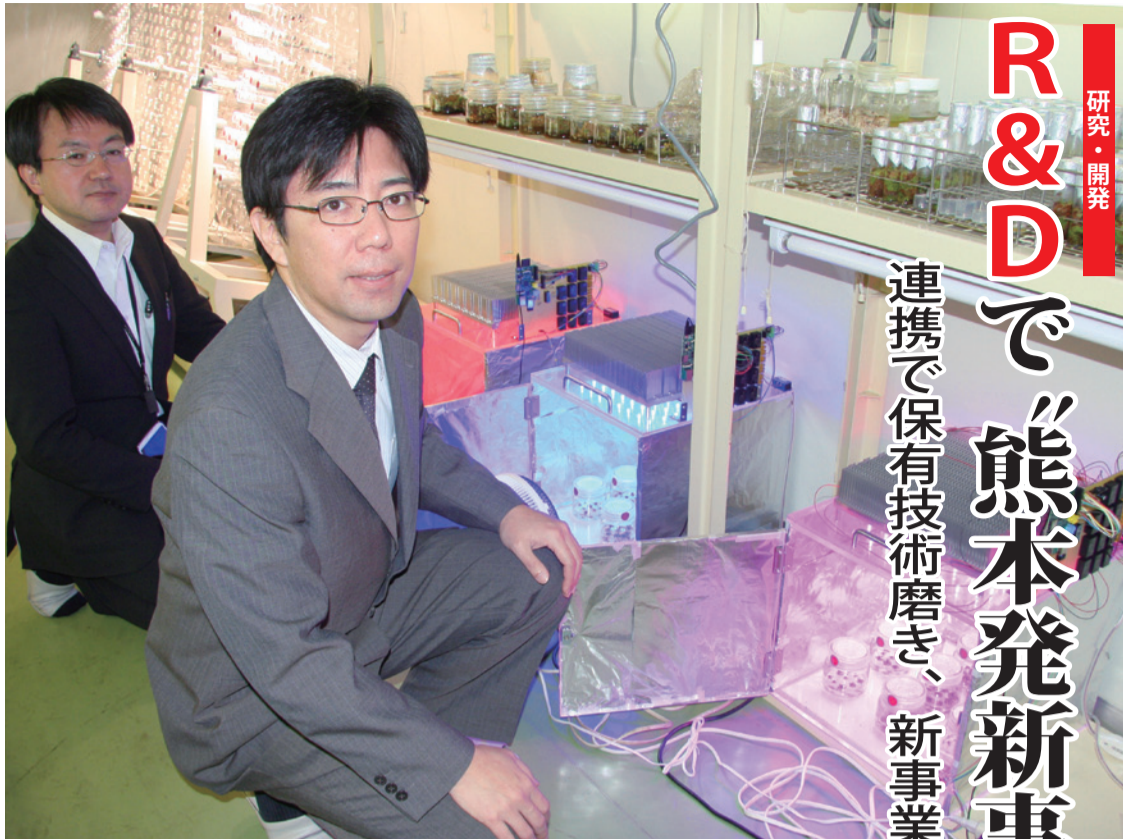




▲段ボールメーカーなどと連携して開発した短期受粉用の段ボール製ミツバチ箱「ミツバチポーヤ」を抱える、(株)蜂の郷にしおかの西岡千年社長。前の箱は長期受粉用の従来型の木製ミツバチ箱（八代市岡町の同社で）



▲赤、緑、青3種類のLEDランプの照射条件を変えながら「セトナイカイモウセンゴケ」の育成実験を進めている星良和准教授（手前）と、実験装置を製作した(株)日本アイティディ熊本開発センター（県工連組込みシステム部会）の上田和富課長（南阿蘇村の東海大農学部で）

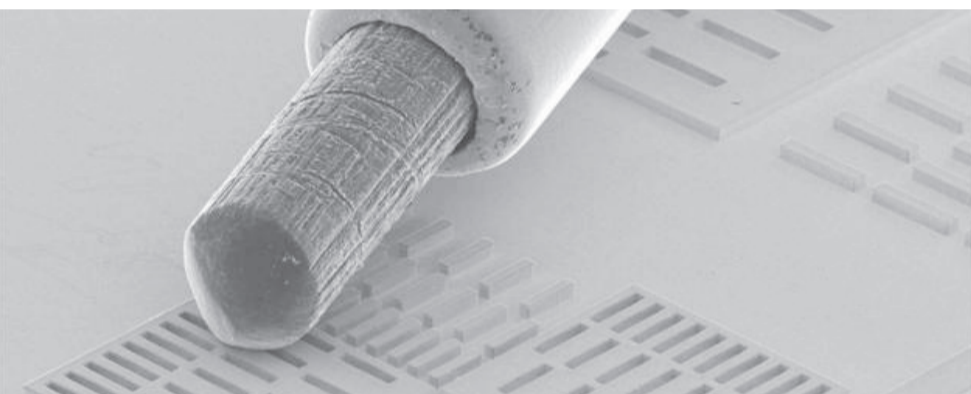
R&Dで熊本発新事業に挑戦！

研究・開発

連携で保有技術磨き、新事業創出で熊本活性化の可能性

産学官の連携などで自社が保有する技術に磨きをかけ、新しい事業領域を開拓しようとする動きが加速。熊本県工業連合会は、R&D（研究・開発）強化による新規事業開拓に力を入れている。県工連と包括協定を結んだ東海大学九州キャンパスでは、工連の組込みシステム部会と農学部応用植物科学科の星良和准教授の間で、アレルギーを抑制する成分を含む食虫植物「モウセンゴケ」の人工増殖試験が進んでいるが

▶表面処理（めっき）を手掛ける(株)オジックテクノロジーズ（熊本市西区上熊本、金森秀一社長）では、電気めっきを応用して精密な複製を作る「精密電鍍」の技術を磨き、工業用インクジェットプリンタのノズル周辺の超小型部品を大手メーカーから受注し始めている。写真の棒状のものは0.5ミリのシャープペンシルの先端部分。



▲不二ライトメタル(株)（玉名郡長洲町、中重健治社長）では、「KUMADAI耐熱マグネシウム合金」の実用化研究が進む。同社では本田技研熊本製作所オートバイ部と連携、トライアル競技用バイクに同合金製の部品を搭載して実証・評価試験を行なっている。写真のバイクのエンジン下部の「エンジンガード」と後輪の「チェーンアジャスター」がKUMADAI耐熱マグネシウム合金

経過は順調だ。受粉用ミツバチの生産・販売を手掛ける(株)蜂の郷にしおか（八代市岡町、西岡千年社長）は、段ボールメーカーと連携、従来の木製に替えた短期受粉用の段ボール製ハチ箱を開発、全国通販に力を入れている。半導体メーカー他から部品の表面処理を請け負う(株)オジックテクノロジーズ（熊本市西区上熊本、金森秀一社長）は、めっき技術を高度化させた「精密電鍍」で超微細部品メーカーに変身しようとしている。河村能人熊本大学教授が開発、従来品を凌駕する強度や耐熱性などを持つ「KUMADAIマグネシウム合金」は、不二ライトメタルで実用化研究が進んでおり、4月には同合金製のネジが専門メーカーから発売される。



▲昨年12月にデビューしたお掃除ユニット「熊本CLEARS」。下通繁栄会やファンと下通アーケードなどを毎月掃除している



▶昨年12月にオープンした専用劇場「熊シエクト劇場」でライブをする「POPSAURUS」。1月は週に4回の定期公演を行っており今後はさらに増やす予定



▲昨年11月にびぶれす広場で行われた、ポップカルチャーイベント「くまフェス」のプレイベントでライブをする「くまCan」

AKB48を始めさまざまなアイドルグループが乱立する「アイドル戦国時代」。地元を中心に活動する「ご当地アイドル」は、熊本でもここ数年、活動が本格化してきた。昨年12月にデビューした「熊本CLEARS」は、全国をきれいにしよう！のコンセプトのもと結成されたお掃除アイドルユニット。現在ゼロの付く日に下通繁栄会やファンと一緒に下通りアーケードなどを掃除している。メンバーは16歳から22歳の6人。「熊本から全国へ」をキーワードに昨年7月にデビューした「POPSAURUS」は昨年12月、「熊シエクト劇場」をカラオケモンテカルロ（中央区手取本町）の3階にオープン。同劇場は県内初の専用劇場で、アイドルカフェなどの営業も計画している。メンバーは13歳から19歳までの8人で構成。現在は週に4回の定期公演を行っており今後は公演回数を増やす計画だ。「県民の妹になる！」を目標に結成された熊本活性化アイドル「くまCan」は昨年10月にデビュー。メンバーは14歳から20歳までの6人。3月に開催するイベントで2期生の公開オーディションを行う。